

明日をひらく窓

～生涯学習ニュース・話題・トピックス・情報～

第 8 1 号

2004.11.15

登別市教育委員会
生涯学習推進室社会教育課発行
電話：88-1154

体験学習が子どもの心を育む

～心の成長には、地域での豊かな体験が不可欠～

学校教育の中に総合的な学習の時間が設けられてから3年が経過しようとしています。それぞれの学校では、心の教育を実践するために地域の特性を生かした体験的な学習を取り入れています。

登別市教育委員会では、生涯学習の観点に立ち、地域の豊かな資源を活用した体験学習を広く市民に啓発し、郷土資料館やネイチャーセンター、図書館、「子ども地域交流プラザ」の事業などで展開しています。

子どもの心を育て、「生きる力」をはぐくむ学習環境は、学校でも地域でも広がってきています。

体験は「生きる力」の栄養素

自然体験では 自然に触れることで、動植物への愛情と命の大切さを知る。また、好奇心や探究心、冒険心が旺盛となり、自ら学ぼうする意欲が生まれる。

生活体験では 昔の食生活や遊び、地域の歴史や文化を学ぶことで、自分の生活を見直し、より豊かな生活環境をつくっていかうとする知恵が身につく。

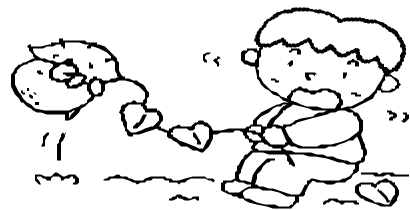
社会体験では 異年齢や新しい人との出会いから連帯感や社会性が育つ。また、地域の人たちとかわることで地域社会の一員としての自覚や郷土に対する愛着心が培われる。

とされています。家族で参加し、親と子が同じテーマで学び、汗を流すことができるのも体験学習です。

子どもたちにとって、体験は成長の糧、いいかえれば「生きる力」をはぐくむ上で欠くことのできない栄養素なのです。下の表は、今年の4月から10月までの主に土曜、日曜に行われた体験学習に参加した人数です。おおぜいの子どもたちが関心を持って参加しています。これからも家族や友達同士で参加してください。

生涯学習関連施設および関係機関の実施した体験学習への参加者数(人)

生涯学習関連施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
郷土資料館	41	420	36	77	17	34	36	661
市立図書館	146	143	142	62	69	60	101	723
ネイチャーセンター	準備	712	33	13	313	29	15	1,115
計	187	1,275	211	152	399	123	152	2,499



～～～体験学習を支えるボランティアの人たち～～～

モモンガくらぶ



ネイチャーセンター
「ふおれすと鉱山」を支援するボランティア組織で、現在の会員数は41名です。年齢構成は、小学生から大正生まれまで幅広い会員で活動しています。ネイチャーセンターは、豊かな自然環境の中で、自然散策、野鳥観察、草木染め体験、水中の生き物観察、野点、来馬岳登山、クラフト教室、冬には、歩くスキー、雪中キャンプなど、自然を相手に多様な体験学習を計画し実施しています。



【野鳥観察】

四季折々の体験学習に参加する子どもたちに、モモンガくらぶのサポートは一年中続きます。

ES EL GE SLG

SLGとはスタディ・ライフ・グループの略称で
S・・・Study(学ぶ)
L・・・Life(生きる)
G・・・Group(仲間たち)

「学んで生きる仲間たち」という意味です。

SLGは、郷土資料館を中心にいろいろな体験学習への指導や協力を行うとともに、学校の総合的な学習や地域の行事などへ協力をしているボランティアグループです。体験ボランティアと学芸ボランティアそれぞれ10名ずつの20名の仲間たちで活動しています。工作教室、登別の歴史や食文化の学習、そばうち体験や敷物づくり体験など幅広い分野で、子どもたちの体験学習をサポートしています。



【工作教室】

『ボランティア体験月間2004』

小・中・高生が参加できるボランティア活動体験(12月、1月実施分)

- 手話体験・・・中学生以上
日時：12/7(火),1/18(火) 19:00～20:45
会場：しんた21
- 衣類の介護リフォーム体験・・・小学生以上
日時：1/17(月),1/31(月) 10:00～15:00
会場：しんた21
- デイサービス体験・・・小学生以上
日時：土日・年末・年始を除く 10:30～15:00
会場：アンデルセンの丘
- ワークキャンプ研修会(予定)・・・中学生以上
日時：1/7(金)～1/9(日) 2泊3日
会場：ネイチャーセンター

.....
定員がありますので参加希望者は早めに連絡をしてください。

連絡先：登別市ボランティアセンター

TEL:(0143)88-2080

FAX:(0143)88-4546



登別市民プール

愛称は

らくあ

市では、市民プールのイメージがふくらみ、長く親しまれる愛称を募集したところ、市民から508件の応募がありました。新市民プール検討委員会で審査した結果、「らくあ」を愛称として決定しました。応募された野村小百合さんおめでとうございます。そして、たくさんの応募ありがとうございました。

ら・・・楽(楽しい) く・・・空間 あ・・・明るい

「明るく心地よい空間の中で、楽しみながら健康づくりをしましょう。」という意味です。市民みんなで大切にしていきたいと思います。



【10月28日(木)上野市長より表彰を受ける野村小百合さん】

市民プールの6月のオープンから10月末までの幼児・小学生・中学生の利用者数は延べ人数で、25,007人でした。

もうすぐ冬がやってきます。寒さに負けない丈夫で健康な体づくりに市民プール「らくあ」をこれからもどんどん利用してください。待ってま～す。

12月・1月の体験学習の予定表は、12月のはじめに園や学校に届きます。冬休み特集も予定していますよ。